

播き遅れ対策として 8月以降の播種は狭畦栽培に！

- 大豆は播種が遅れると、開花までの栄養生長期間が短くなり、生育量が大きく減少するため、収量が低くなる傾向があります。
- 7月中の播種は慣行栽培(条間70cm程度)に、8月以降に播種する場合、狭畦栽培(条間40cm前後)に切り替えてください。

方法	狭畦栽培(8月以降)	慣行栽培(7月中)
播種密度	条間35~50cm 株間30cm	条間70cm 株間20cm
播種量	5~6kg、1株2粒播き	3.5~4kg、1株2粒播き
中耕培土	なし	中耕培土(1~2回)
除草剤	①土壌処理(播種直後) + ②茎葉処理(大豆3~4葉期頃)	①土壌処理(播種直後)

狭畦栽培での雑草防除

①播種後の除草剤は必須！

・狭畦栽培は、中耕による除草作業がないため、播種後に必ず除草剤を散布してください。

②生育期にも茎葉処理剤で追加除草を！

- ・薬剤や草種によっては、雑草の草丈が10cmを超えると効果が劣ります。
- ・散布後、大豆葉に褐変、萎縮、白化などの薬害が生じますが、新しく展開する葉への影響は少なく、薬害は徐々に目立たなくなります。

「だいず」に登録のある茎葉処理除草剤の例(令和2年7月1日時点)

対象雑草	薬剤名	使用時期	注意事項
広葉雑草	大豆バサグラン液剤	本葉2葉期~開花前 (雑草の生育初期~6葉期) 収穫45日前まで	イネ科には効果なし アザミ科やヒユ科にはやや劣る
広葉雑草	アタックショット 乳剤	本葉2葉期~開花前 (雑草生育期) 収穫45日前まで	イネ科には効果なし ヒユ科やアザミ科にはやや劣る
イネ科雑草 (スズメカサネを除く)	ポルトフロアブル	雑草生育期 (イネ科雑草の3~10葉期) 収穫30日前まで	広葉には効果なし

※農薬の使用にあたっては、ラベルに記載された内容を十分に確認してください。